

令和6年度 青森市子ども会議 事前顔合わせ会

- 1 日 時 令和6年4月27日（土）9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市役所 議会棟4階 第1・第2委員会室
- 3 出席者 子ども会議委員21名、子どもサポーター1名、事務局3名
- 4 活動内容 (1) 青森市子ども会議について・自己紹介
(2) 子どもの権利に関する講義
(3) 令和6年度活動テーマについて
(4) 子どもの権利普及啓発Tシャツについて

5 開催概要

青森市子ども会議は、青森市子どもの権利条例第14条に基づき、まちづくりをはじめとした市政などについて、子どもが意見を表明し参加する場として設置され、小学5年生から原則18歳までの子どもたちで構成されています。

今年度は、子ども会議委員27名（小学生9名、中学生11名、高校生7名）と、子どもたちの活動をサポートする子どもサポーター4名（学生4名）で活動をスタートしました。

青森市子ども会議について・自己紹介

はじめに、事務局から青森市子ども会議について説明がありました。青森市子ども会議は、子どもの権利の4つの柱の中で「意見を表明し参加する権利」を特に大事にして、主に、青森市のまちづくりなどを調査したり、子どもの権利について学び、みんなにも知ってもらうための活動を行ったりしています。令和5年度は、「もっと魅力あふれる青森市に！」をテーマに様々な活動を行ったことや、これまでに子ども会議フォーラムで提案した意見が青森市のまちづくりに実際に取り入れられた例など紹介してもらいました。

次に、自己紹介を行いました。青森市の好きなおとこや今年度やりたいこと、好きなものもあわせて発表しました。

子どもの権利に関する講義

次に、子どもの権利擁護委員の関谷道夫先生から、初めて顔を合わせた子ども会議委員の緊張をほぐすため、アイスブレイクを含めた子どもの権利に関する講義をしてもらいました。

アイスブレイクでは、出来るだけ多くの人と握手



をするゲームや、ペアになった人の素敵だと思ったところをすぐに見つけて 3 つ言い合う「いいとこ探しゲーム」を行いました。

他にも、毎年恒例の「最近あった良かったことや気づいたこと」、「今一番大切な人」などのさまざまな質問に答えて、全員で拍手をする「Good & New (グッドアンドニュー)」を行いました。

令和6年度活動テーマについて

続いて、高校生委員の進行のもと今年度の活動についてみんなで話し合いました。まず、一人ずつ今年度やりたいことについて発表し、同じような意見ごとにグループ分けをしました。7つに分けたグループの中からさらに共通点を探し、環境や住みやすさについて取り組む「街をアップデートするグループ」と魅力について取り組む「青森市の魅力をシェアする」の2つのグループに分けることができました。

<出された主な意見>

街をアップデートする	青森市の魅力をシェアする
・ごみ拾い	・青森の人物や物
・除雪（雪の再利用）	・駅前新しくできた施設
・新町商店街の空き店舗の利活用	・青森の伝統文化の周知
・給食の完食調べ	・相談できるところのPRや紹介
・子どもの勉強スペース	・青森の美味しい食べ物
・中高生の遊べる場所	・新しいものや知られていない所を調査

次に、今年度の活動テーマについて話し合いました。「develop with us（私たちと一緒に発展する）」、「very good city（とても良い市）」、「進化し続ける青森市」の3つの意見が出ましたが、日本語で意味が分かりやすいことと実際に新しいものがたくさん増えてきていることから「進化し続ける青森市」に決定しました。



子どもの権利普及啓発Tシャツについて

最後に、今年度のTシャツのデザインについて話し合いました。みんなに事前に考えてきてもらったデザイン案の中から1人1つ好きなものに投票してもらいました。票数の多かった2つのデザインを組み合わせることにし、色などについては、次回の会議で話し合います。

